

平成 30 年度指定管理運営業務評価票

施設名称：大阪府立花の文化園	指定管理者：住友林業緑化・E-DESIGN 共同企業体	指定期間：平成 28 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日	所管課：環境農林水産部農政室推進課
----------------	-----------------------------	---------------------------------------	-------------------

評価項目	評価基準（内容）	実施予定年度	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価	評価委員会の指摘・提言	
				評価 S～C			
一 提案の履行状況に関する項目 施設の位置づけや特性、社会的役割等効用を最大限発揮するための方策	(1)花きを収集し、栽培し及び展示する業務	①絶滅危惧種や希少植物の収集	H30	絶滅危惧種・希少種の種苗交換を他の植物園と実施した。環境省の「生物多様性保全推進支援事業」の認定を受け園内での展示エリア（ふるさとの花園）を整備した。	A	・施設所管課の評価のとおり、一部災害によりやむを得なく延期とした項目もあるが、実施された項目については、いずれも提案に沿って実施されたと評価できる。 ・台風 21 号により多数の倒木被害が発生した影響等により、バラ園、クレマチス園、香りの丘などの改修や補植が延期となったことはやむを得ないとする。 ・そのような中でも、装飾花壇の勾配変更、ふるさとの花園の整備、ハーブ園の移転等、植栽展示の向上につながる改修を実施できたことは評価できる。 ・28 年度より取り組んできた既存植物の同定作業を完了したこと及び植物サインの統一したことにより、展示植物に関するより詳しい情報を来園者に提供するための基礎ができあがったことは評価できる。 ・植物サインに QR コードを表示し、データベース「花の散歩道」にリンクさせるという提案については、費用面が課題となり実施時期が延期されてきたが、データベース閲覧用端末を図書室に設置（H31.3 月予定）することにより一定の対応済みと見なす。	
		②ゾーニングの変更					
		〈エントランスゾーン〉 ・プランターによる演出（季節毎に植替）	H28～H30	H28:老朽化の激しいテラコッタドール及びクジラのオブジェを撤去し、花の少ない夏期の魅力向上のためシロバナサルズベリ、ベニバナスモモ（2 本）を植栽した。エントランスゲート外の花壇の芝生を常緑化し、季節ごとに花を植え替えることで、おもてなしの空間演出を行った。エントランスゲートを入った広場にテラコッタ鉢を設置、花による季節ごとの演出を行った。 H29:エントランスゲート花壇の芝生を部分的に切り取り、花苗を植栽し華やかにした。エントランスゲート前とゲートに、特大テラコッタを置き、季節の花を中心にした寄せ植えをして、お客様をお迎えした。 H30:H29 に設置した特大テラコッタを装飾花壇と連動して季節の花を中心にした寄せ植えをして、エントランス中心には特大のオリーブの鉢植えを置き、お客様をお迎えした。			
		・花壇の整備	H29, H30	H29:装飾花壇内に敷いた白玉砂利を撤去し植栽部分を増やした。花の湧きたつようなボリュームを見せたい為、細かく区切られていた植栽柵を大きなサイズに変更した。 H30:大きくした植栽柵に高さが異なる花を植えることで立体的な 3 次元の植栽を実施した。			
		〈ガーデンゾーン（メイン園路沿い）〉 ・現況撤去、ガーデン新設	毎年	H28:園路沿いに設置されていたプラスチックプランターを撤去、流れ末端に花壇を新設し、シェードガーデンから花壇をつなげることで、花の演出スペースを増やした。園路沿いに寄せ植えをしたテラコッタプランターやハンギングバスケットを設置し、季節ごとに花の植替えを行った。球根園横の園路沿い花壇の低木を撤去し、季節の花を見ていただけるような花壇を整備した。 H29:園路沿いの花壇の砂利を撤去し、花の植栽面積を増やし季節の花いっぱいのお客様をお迎えした。 H30:チューリップ、ユリのコンテナを用意し常設の展示エリア以外も季節毎に展示することで花いっぱいの園路でお客様をお迎えした。			
〈標本展示ゾーン〉 ・既存植物の同定	H28～H30 (H30 延長)	H28:ボタン、シャクヤク、ハス、アジサイ、ウメ、クリスマスローズの品種同定及び数量確認を行った。 H29:モミジ谷、温室、バラ園等、品種同定及び数量確認を行った。一部未実施の場所があるため、来年度以降、引き続き実施する。 H30:ふるさとの花園における絶滅危惧種・希少種の品種同定及び数量確認を行い、既存植物の同定作業が完了した。					
・補充及び展示の整備	H28, H30	H28:ツバキ、ボタン、クリスマスローズを補充。 H29:大温室にてサクラソウ展、マドンナリリー展、ギボウシ展、変化朝顔展、ネリネ展、クリスマス展、冬咲きチューリップ展を開催。樹木を撤去して展示スペースとして整備した。 H30:大温室内コレクションガーデンを整備し、希少種を含むシャクナゲを補植（原種 35 種、園芸種 14 種）し、H29 同様に各種の植物展を実施した。大温室には約 20 種程度の花きを補植。ボタン園奥の花壇を整備し、季節毎の展示としていたハスの常設展示エリアとした。日					

				当たりの悪かったハーブ園をモミジ谷入口付近のメイン園路沿いの日当たりの良いエリアに移設し、移設後のハーブ園をペレニアルガーデンとして整備した。				
			・サインの設置	H29, H30 (H28 延期)	H29:劣化が激しかった植物サインはデザインを統一し刷新した。 H30:H29 引き続きデザインを統一した植物サインを設置した。			
		③わかりやすい展示						
			〈園内サインの統一デザイン化〉 ・ガーデンゾーンの植物サインの新設(検索閲覧用パソコン)	H28~H30 (H30 延長)	H28:装飾花壇、花時計に植物サインを設置した。 H29:劣化が激しかった植物サインはデザインを統一し刷新した。QR コード植物検索での花の散歩道へのリンクについては、 H30 年度中に園内にパソコン閲覧場所を設置し対応する予定。 H30:3 月にて図書室に「花の散歩道」閲覧用のパソコンを設置予定。			
			・園の案内サインの再整備	H29, H31 (H30 追加)	H29:園内外に「のぼり」を設置、奥河内くろまるの郷の駐車場に「花の文化園駐車場の看板」を設置し、誘導を図った。 エントランス上部に遠くからでも視認できる「はなぶん」看板を設置した。 園内マップ案内看板を、より細部までわかるようにデザインを刷新した。 ゾーンに属する主要な植物の文化や歴史を掲載した案内サインを設置した。 H30:大温室カフェへの利用促進のため温室テラス手すりに看板を設置した。 利用者に分かりやすくするため「ゆずりあい駐車場」の案内板を設置した。			
			・標本展示ゾーンの植物サインの再整備(検索閲覧用のパソコン整備)	H28, H31 (H30 延期)	H30:3 月にて図書室に「花の散歩道」閲覧用のパソコンを設置予定。			
		④園内樹木について、樹木医による危険木調査を実施						
			園内樹木について、樹木医による危険木調査を実施	H29, H31	H28:樹木医による園内樹木の調査を実施。樹木の状況の把握と園に適応した管理のアドバイスを受けた。モミジ谷の低木について過密気味との調査結果を受け、強剪定を実施した。 H29:調査で危険と診断されたエドヒガンザクラ1本を伐採した。 H30:樹木医による特定外来生物(クビアカツヤカミキリ)の被害確認を実施した。			
		⑤個別植栽エリアの改修、拡張、充実						
			〈装飾花壇〉 ・花壇の勾配変更	H30 (H29 延期)	H29:勾配変更の図面は作成済み。勾配変更工事時期がイルミネーション開催期間(12/15~3/4)と同時期になったため、工事はH30年度に延期する。 H30:秋の一斉植え替えに合わせて最上段の花壇に盛土を実施し、モニュメントの付近を頂点とする約40cmのかさ上げを行い勾配を変更した。			
			・背景樹木の植栽	H29 (H28 延期)	H29 に桜を植栽済み。			
			〈花時計〉 ・物見台の設置	H30 (H29 延期)	H30:台風 21 号の被害により花時計物見台設置付近の樹木が倒木したため、新規植栽計画と合わせて再計画が必要となり延期。			
			〈バラ園〉 ・アーチ及びトレリスの新設	H30, H31	H30:台風 21 号の被害により既存アーチ、トレリス等が全壊。新設も含めて全体計画を立てての大規模回収が必要となり今年度は延期。			
			・株のボリュームを増加する管理の実施	随時	品種数は保持し、株が混んでいるところは間引きをして風通しを良くし、栄養豊富な土作りをし、株が良好に育つ様な管理を実施。間引き株は鉢上げをし、花期には展示をする。			
			〈梅園〉 ・間引き	H29, H30	H29:間引きによる管理を変更し、高頻度剪定を行う事により生育環境の改善を図る。H29, H30 年度とも花後に剪定予定。			

				H30:H29 同様に4月の花後に実施予定。			
			・低樹高化のための切り戻し	H29, H30	H28, H29:4月の花後に、切り戻しを実施した。 H30:H28, H29 同様に4月の花後に実施予定。		
			〈香りの丘〉 ・香りのある植物の補植	H30～H32	H30:台風21号の被害により既存樹木が倒木した為、新規樹木植栽計画と合わせて再計画が必要となり今年度の補植は延期。		
			〈大温室〉 ・温室植物の補植	H29～H31 (H30 追加)	H30:植物の少ない部分や既存植物の一部を整理し新規植物を補植(約20種程度補植)することで大温室をリニューアルした。エントランスと一部エリアをランの常設展示エリアとし大温室への入館者を楽しませるようにした。		
			・ベンチの設置	H31	H30:イベント広場、入口売店前を整理しパラソル付ベンチを新規に設置した。		
			・文化を紹介するサインの設置	H29, H30 (H30 追加)	H29:大温室にコレクションガーデンを整備し、企画展(植博:しょくはく)を実施。植物文化に関する情報を展示紹介した。 H30:H29 同様にコレクションガーデンにて企画展を実施。6月度には「舞洲ゆり園」との連携企画として「マドンナリリー展」を開催しユリに関する多くの情報を展示紹介した。		
			〈もみじ谷〉 ・園芸品種の導入	H30	H30:台風21号の被害により延期。		
			・樹名札の設置	H31	H29:H31年度に先立ち、モミジや低木類に樹名札を設置。		
			〈クレマチスガーデン〉 ・改修	H29, H30	H29:実績なし。 H30:改修計画を立案するも6月度の大阪北部地震の影響でクレマチスガーデン内のレンガ壁の解体が発生し再計画が必要となり今年度は延期。		
			〈コミュニティガーデン〉 ・ガーデンを整備し、カフェの設置	H30	H30:ガーデン内のモニュメント、一部構造物を撤去し季節毎の花を新規に植栽し、テーブルセットを設置して休憩場所として開放した。カフェの設置については大温室カフェとの競合も考慮する必要を考え次年度へ延期。		
			〈球根園〉 ・3種の球根ガーデンの補植	H29, H30 (H30 追加)	H29に3種の球根ガーデンに改修済み H30:一部をダリアの展示エリアとして球根を植栽した。合わせてダリアの開花時期に合わせて鉢植えのダリアを球根ガーデン内、園内各通路に展示することで文化園全体としてのダリアのイメージを入園者へアピールした。		
			・植物を活用した講習会の実施	H30～H32	(2)花きに関する講習会、展示会及び品評会等を開催する業務に移行		
			〈ハーブ園〉 ・ハーブの補植	H30	H30:ハーブ園をモミジ谷入口付近のメイン園路沿いの日当たりの良いエリアに移設し、合わせて新規品種の補植を実施した。		
			・講習会の実施	H31, H32	(2)花きに関する講習会、展示会及び品評会等を開催する業務に移行		
			〈芝生広場〉 ・桜の補植	H29, H30	H29:既存のサクラの間に幼木を9本植栽。それぞれが別の品種であり芝生広場には植栽されていなかった品種を補植し、春の華やかさを補強した。 H30:H29の補植により十分な密度になった為H30は補植無し。		
			・芝生の整備、養生	毎年	H29:遊具撤去跡を整地し芝生の播種を行なった。芝生地に姫高麗芝を植栽。管理用の農機なども導入し、芝生の質を保っている。 H30:9月に専門業者によるメンテナンスを実施。		
			〈バックヤード〉 ・バックヤード見学	H29～H32	H29:企業見学会、団体見学会時に3回実施。3月の府政学習会にて実施予定。 H30:H29 同様に企業見学会時に2回実施。2月の府政学習会にて実施予定。		

			会の実施						
		⑥高木密度の適正化							
		・景観改善のための伐採・剪定	毎年	H29: レストラン、芝生広場、モミジ谷周囲樹木の伐採、剪定を実施。 H30: 装飾花壇の後ろのマツ林の剪定を実施、林内部のツバキを伐採しエントランスからの景観を改善した。新規ハーブ園付近の高木を伐採し日当たりと景観の改善を実施した。					
		・樹木の健全性維持のための伐採、剪定	毎年	H29 アジサイ園内の過密になり下に陰を落としていた杉の剪定を行い、杉本体とアジサイの状態の健全化を図った。 H30: 大温室内の高木の剪定を実施し、温室内の日照の改善と樹木の健全化を図った。					
	(2)花きに関する講習会、展示会及び品評会等を開催する業務	①これまでに引き続き開催する講習会等							
		・不思議植物展	毎年	食虫植物をはじめとする植物の不思議な生態を解説パネルとともに生息地ごとに紹介した。虫眼鏡等で観察できたり、実際に触ったり、身につけて遊べる展示を行った。 8/7(火)～8/19(日)の期間中、食虫植物を使った子ども向けの寄せ植え体験教室を2日間開催。期間中入園者数は、3,156人(H29は2,479人)。					
		・夏休み子ども講座	毎年	「はなぶんサマースプラッシュ」の一環プログラムとして、「夏休みキッズワークショップ」を開催。7/21(土)～8/26(日)の期間中、週末の9日間実施した。小さなお子様から楽しめる38種類の体験教室に3,251人の参加があった。(H29は13日間で1,329人) スプラッシュガーデンや冒険クイズラリーなどを同時開催することで集客アップを図った。					
		・花の文化園写真コンテスト作品展	毎年	「花の文化園写真コンテスト作品展」を、8/28(火)～9/24(月・祝)に実施した。(ただし、9/4(火)～9/14(金)までは臨時休園)。園内で撮影された写真を対象とし、4月から5月に募集した。応募者数は157点の内、68作品を展示。展示期間中の入園者数は5,223人。(H29は、期間入園者数2,893人)					
		・幼児、小中学生花の絵画展	毎年	「幼児、小中学生花の絵画展」を1/5(土)～2/3(日)に開催。4月より画用紙の無料配布、画板の貸し出しを行い、夏休み期間中には絵画の指導員を迎えて、写生大会を2回実施した。園内を写生した応募作品250点の中から審査により150点(内、特別賞10点)を展示。また1/5(土)～1/20(日)の期間では、入園者の投票により上位30点(投票総数1,295票)を花の文化園賞として表彰した。展示期間中の入園者数は、4,210人。(H29は、投票数1,223票、期間入園者数3,283人)					
		・春を告げる盆梅展	毎年	「春を告げる盆梅展」は、2/5(火)～2/17(日)に開催する。園内で生育させた盆梅を万葉集や枕草子などの古典文学に見られる梅の和歌や文章と合わせて展示を行う。					
		・クリスマスローズと春の草花展	毎年	「クリスマスローズと春の草花展」は2/19(火)～3/3(日)に開催する。園でみられるクリスマスローズの一覧も合わせて展示することで、クリスマスローズ園の案内も行う。上記以外にもイベントホールの展示やその他施設を利用した外部団体主体のイベントについても、ポスター掲示や園のチラシへの案内の掲載、HPやFacebook等のSNSでPRしている。					
		②新たに開催する講習会等							
		・吊りしのぶづくり	毎年	昨年の植物アレンジレッスンで制作した吊りしのぶを、職員指導の下、NPO法人フルルのメンバーと維持管理をした。今後も経過観察を続け、次年度開催に向けて準備をしている。(H29:参加者数13人)					
		・山野草を使った寄せ植え体験	毎年	植物アレンジレッスンで「和風の寄せ植え体験」を実施した(6/10)。ガラス容器に山野草や苔を入れて、和風になりすぎず、若い世代にも受け入れられるよう工夫をした。参加数は7人。(H29:参加者数7人)					
		・押し花ファイルづ	毎年	より魅力的な講習会にするために、押し花でなくドライフラワーを生産し、草花ハーブ倶楽					
						A		A	・施設所管課の評価のとおり、新たなイベントを開催する等、提案された項目についてはいずれも提案に沿って実施されたと評価できる。 ・さらなる魅力向上のためには、目玉となる取り組みが必要。園芸愛好家を惹きつけるコンテストの開催等を検討されたい。
									・これまでに引き続き開催する講習会等については、提案どおり開催されている。 ・新たに開催する講習会等についても、植物アレンジレッスン(月1回開催)、子供・親子向けワークショップ(夏、秋、冬に一定期間開催)といった取組みが定着し、参加者数も増加していることは評価できる。 ・花育を推進するため、今後もファミリー層が楽しめる講習会等の充実を図られたい。

				<p>くり</p> <p>部での活動や季節ごとのワークショップに活用した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高槻市都市緑化フェアでのハーバリウム教室（10/21、参加者数 80 人）。 ・植物アレンジレッスン「木の実で小物づくり」（11/11、参加者数 16 人） ・アドベントカレンダー作り（11/17, 18、参加者数 24 人） ・こたつ de ワークショップ（12/8.9.15.16.22.24、参加者数 81 人。H29：50 人） ・植物アレンジレッスン「ポプリ作り」（1/13、参加者数 9 人） <p>こたつ de ワークショップ以外は今年度初開催。</p>					
			・植物標本づくり	毎年	次年度開催に向けて、標本となる植物を収集。				
			・草木染ワークショップ	毎年	植物アレンジレッスンで「サクラの草木染め体験」を実施した（4/8）。参加数は 10 人。（H29：参加者数 10 人） 「奥河内秋の文化祭」の一環プログラムとして、園で穫れたどんぐりを使って、ハンカチを染める「どんぐり染め体験」を開催。（11/17）参加数は 7 人。（今年度初開催）				
			・花と趣味の切手展	毎年	イベントホールで、花の切手や花をテーマにした作品の展示をメインにして、各会員の作品を約 30 フレームに展示した。主催：河内長野郵趣会（5/8～5/13）				
			・春の押し花展	毎年	イベントホールで、様々な草花で作成した個性豊かな押し花の作品を展示した。 主催：花工房あじさい（5/15～5/20）				
			・植物アレンジレッスン	毎年	毎月 1 回、年間で 12 回開催をしている。伝統園芸植物であるサクラソウから、若い世代に人気の多肉植物や食虫植物を盛り込んだアレンジ等、バラエティの富んだ内容で、様々なニーズに対応している。参加者は多世代にわたる。				
			・リース作り教室	毎年	植物アレンジレッスンの中で、「チランジアリースづくり」（10/14）を開催した。土を必要としない「エアプランツ（チランジア）」を使用することで、インテリアとしてもお家の中で飾ることができ、「暮らし」に取り入れやすい工夫をした。参加数は 18 人。（今年度初開催）				
			・はなぶん昆虫観察会	毎年	「はなぶんサマースプラッシュ」の一環プログラムとして、外部から講師を招いて「昆虫標本づくり教室」（8/4、8/25）「植物園の生き物観察会」（8/5、8/26）を開催。昨年度、人気のプログラムであった為、受入れ枠を拡大した。参加数は 145 人。（H29：参加者数 80 人）				
			・花の写真教室	毎年	昨年に引き続き、外部の写真教室を受け入れている。 文化園の取組としては、園内随所に花と撮影できる「フォトスポット」を毎週設定し、エントランスで配布している散策マップに掲載した。また現地にはサインを設け、来園者に写真をとってもらうことを誘致した。				
			・手作りアート教室	毎年	季節ごとに子どもまたは親子を対象としたワークショップを開催した。 ○7・8 月「キッズワークショップ」（9 日間 参加者：3,251 人） 夏休みの子供を対象とした 38 種類の体験講座を屋内で開催。（H29：13 日間 1,329 人） ○11 月「ものづくりワークショップ」（11 日間 参加者：908 人） 芸術の秋にぴったりの親子で楽しめる 25 種類のものづくり体験を屋外で開催。（H29：11 日間 746 人） ○12 月「こたつ de ワークショップ」（6 日間 参加者：81 人） 園内でとれる松ぼっくりや木の実、お花等を活用して、大人から子どもまで対象としたクリスマス向けのワークショップを開催。（H29：2 日間 50 人）				
		(3)花きに関する講習会、展示会及び品評会等	①申し込み方法の簡略化						
			・申し込みフォーム及び空室情報を掲載したホームページの	H28	ホームページ開設済み。	A	・ホームページ（特にトップページ）において、貸出施設の貸出しを行っていることをよりわかりやすく表示するなど、より効果的な利用促進を	A	・施設所管課の評価のとおり、提案された項目につい

	のため、花の文化園の施設を府民の利用に供する業務	開設			図られたい。 ・大阪府立大型児童館ビッグバン・ハーベストの丘・さかい利晶の杜との合同イベントの開催、外部団体によるコーヒーイベントの誘致など新たな取組みにより屋外スペースを有効活用していることは評価できる。		ては、いずれも提案に沿って実施されたと評価できる。
		・登録制度の新設（窓口及び FAX でも引き続き受付）	H28	登録制度を構築済み。			
		②対象施設の PR					
		・施設の写真を掲載したホームページの開設（施設利用の提案及び展示アドバイスは随時）	H28	ホームページ開設済み。			
	（4）花きに関する相談及び指導を行う業務	③屋外スペースの積極的な活用			A	A	・施設所管課の評価のとおり、一部提案どおりではないものの、図書室や資料を有効活用されており、概ね提案に沿って実施されたと評価できる。今後にも期待したい。
		・芝生広場及びイベント広場の利用誘致（広報誌に掲載等）	毎年	芝生広場をメインとしたイベントとして、「はなぶんサマースプラッシュ」（7/21-8/26）と「奥河内秋の文化祭」（10/27, 28, 11/3, 4, 10, 11, 17, 18, 23-25）を開催した。 「はなぶんサマースプラッシュ」では、毎日スプリンクラーを設置し、夏休み中の子どもたちの遊び場とし賑わいを創出できた。期間中子どもの入園者数は昨対比 132.4%となった。奥河内秋の文化祭では、ものづくりワークショップをはじめ、ふわふわドームや動物ふれあい体験など、20種類以上のイベントを芝生広場で行った。また期間中に、南大阪4施設連携イベント「こどもとおでかけするならここへ秋 GO!」を開催。新たなコンテンツによる集客を狙った。 他にも、外部団体によるフラダンスイベント、マルシェ、自転車イベント、講習会の実施などを誘致することができた。 イベント広場では、春秋のフラワーコンサートの利用に加え、外部団体によるコーヒーイベントを実施した。			
		① 相談所の設置					
	（4）花きに関する相談及び指導を行う業務	・図書館の再整備（センター棟ホールに拡張、専門職員を常駐）	H29, H30 (H28 延期, H30 延長)	※H29 モニタリング評価対応方針：相談所を設置し専門職員を常駐するなど来園者が気軽に相談できる体制づくりを検討 H30: 図書室の書庫を整理し一部を休憩室として開放して花に関する情報誌等を気軽に閲覧できるようにした。相談所を設置する代わりに「花の散歩道」閲覧用のパソコンを3月に設置することで気軽に花の情報を得られる機会を増やす予定。	A	A	・来園者以外からの相談受付については、提案どおり整備されている。 ・相談所の設置について、提案どおりではないものの、図書室及び保有資料の有効活用に向けた取組がなされている点は評価できる。より一層有効活用が図られるよう、努力されたい。
		・書籍紹介、コピーサービス等サービスの充実	H29 以降 (H28 延期)	図書紹介、コピーサービスを実施中。			
		②来園者以外からの相談受付					
	（4）花きに関する相談及び指導を行う業務	・ホームページに問い合わせフォームを設置	H28, H30, H32	H28 設置済み	A	A	・施設所管課の評価のとおり、一部提案どおりではないものの、図書室や資料を有効活用されており、概ね提案に沿って実施されたと評価できる。今後にも期待したい。
		・よくある問い合わせをホームページに掲載	H28	掲載後、適宜更新中。			
		③出張花の文化園					

			<ul style="list-style-type: none"> ・車両の整備 	H30	H30:資材仕入用バンを利用して、文化園の広報用の掲示板、花苗プランター等を積み込み「出張花の文化園」を実施。(6施設へ出張)					
			<ul style="list-style-type: none"> ・園外活動の実施 	H30～H32	<p>H28:学校ガーデニングの継続(小中学校 18校 21回訪問)、園外イベントへのブース出展継続。(中之島公園)</p> <p>H29:学校ガーデニングの継続し、花育を実施(小中学校 19校 24回訪問)、園外イベントへのブース出展継続。(舞洲ユリ園、南海難波駅)</p> <p>H30:学校ガーデニング継続実施。(幼稚園 1園 小中学校 15校 20回訪問)</p> <p>出張花の文化園 6回実施。(大阪舞洲ゆり園、大阪府立江之子島文化芸術創造センター、大阪中之島公園、さかい利品の杜、大阪府立大型児童館ビックバン、堺緑のミュージアムハーベストの丘)</p>					
		④ボランティアに対する教育								
			<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア養成講座の実施 	毎年	<p>H28:全 15 回、52 名参加</p> <p>H29:全 10 回、17 名参加</p> <p>H30:全 12 回、47 名参加</p>					
			<ul style="list-style-type: none"> ・日々の管理の中での専門的な指導 	随時	植物アレンジレッスン、ラン講習、バラ講習、安全講習、その他衛生関係指導実施。					
	(5)花きに関する情報の収集及び提供を行う業務	①誰もが利用しやすい図書館づくり								
			<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の再整備(センター棟ホールに拡張、専門職員を常駐) 	H29, H30 (H28 延期)	H30:図書室の書庫を整理し一部を休憩室として開放して花のに関する情報誌等を気軽に閲覧できるようにした。相談所を設置する代わりに「花の散歩道」閲覧用のパソコンを3月に設置することで気軽に花の情報を得られる機会を増やす予定。					
			<ul style="list-style-type: none"> ・雑誌や書籍の充実 	随時	購読者の多い園芸雑誌の継続提供。					
		②インターネット上での情報公開								
			<ul style="list-style-type: none"> ・Web花図鑑「花の散歩道」の充実 	H29, H32	<p>※H29 モニタリング対応方針：検索用のパソコンを整備</p> <p>※H30「花の散歩道」閲覧用のパソコンを3月に設置予定</p>					
		③広報誌の刷新								
			<ul style="list-style-type: none"> ・新広報誌の作成 (Letter from flowers) 	H28	広報誌を作成し、広報活動を継続実施中。					
		④情報収集のためのネットワーク形成								
			<ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人日本植物園協会への継続加入 	毎年	継続加入中。					
			<ul style="list-style-type: none"> ・海外花き関係団体への加入 	H29～H32	園にとっての意義が少ないと判断し、国内の協会での活動、交流を充実させる。					
	(6)花の文化園の維持及び補修に関する業務	①清掃及び施設点検の徹底								
		<ul style="list-style-type: none"> ・清掃チェックリストの作成 	H28	作成済み。						
		<ul style="list-style-type: none"> ・安全基準の作成及び点検実施(点検は随 	毎年	園全体の危険箇所について、舗装・安全柵、危険樹木、転倒危険性、その他に分類してリストアップを行い、随時改修及び清掃を実施した。継続実施中						

			時)	<p><遊歩道> H28:遊歩道の転落の危険性が高く、300mにわたり、木製の安全柵を新設した。 H29:梅園、木製階段及び手すりの安全改修。</p> <p><モミジ谷> H28:舗装の不陸及び階段部を改修した。 H29:落枝樹木の剪定、伐採。 H30:アスファルト・コンクリート舗装を全面改修した。</p> <p><階段> H28、29:階段不陸補修。</p> <p><シェードガーデン園路> H30:木の根の影響で凹凸状態の石畳の不陸補修。</p> <p><イベント広場> H30:高圧洗浄により全面清掃を実施した。</p> <p><全体> H28, H29, H30:落枝、倒木の危険が高い樹木の剪定及び伐採を実施。今後も継続 H28, H29, H30:苔等により滑りやすく、危険性のある床面を清掃除去実施。今後も継続 H28:エントランスのテラコッタドール及びクジラのオブジェは老朽化のため撤去。 H28, H29, H30:消防計画書作成の上、消防訓練実施(3月実施予定)。 H28, H29, H30:大阪府の建築物点検マニュアルを基に、ISO14000に展開し、年4回遵守状況を確認している。 H28:植栽エリアの点検箇所については、樹木医による診断により樹木の健康度の確認を実施した。現在、管理時に日常点検中</p>		<p>する工夫をされており、評価できる。 ・清掃も行き届いており、評価できる。</p>	<p>も提案に沿って実施されたと評価できる。 ・台風以外の地震等の突発的な災害も見据え、一層の応急対応能力の向上に努められたい。</p>		
			②各種施設の内装補修						
			・壁紙の張り替え等 軽微な補修	毎年	<p>H28, H29:レストランに本棚、つい立を設置し老朽化した壁面を保護。 H28, H29:ガーデンショップの内装を塗り直し。 H30:イベント広場の休憩所を売店に改装し、室内壁の汚い部分にロールスクリーンを設置し明るい店内とした。</p>				
			③老朽化を目立たなくする演出						
			・エスパリエ等の設置	H29, H31	<p>H28, H29: レストランのファサードにつる植物の誘引。 H29:フルルデッキに壁面緑化新設。 H30:H29 施工のフルルデッキ内壁面緑化を追加設置した。</p>				
	(7)花きに関するボランティアの育成に関する業務		①花きの専門知識の継続的教育						
			・ボランティア活動の場の提供及び教育	毎年	<p>ボランティア活動は毎週火・木・土に実施。園の職員が作業指示及び随時植物管理の教育を行っている。 「NPO法人フルル花と福祉の地域応援ネット」の理事会と月に1度合同で会議を行い、ボランティア会員の要望を組み込んだ連携体制及び日々の活動を実施している。 園主催のイベントである「はなぶんサマースプラッシュ」のキッズワークショップにおいて、ボランティア会員によるクラフトづくりのブースを実施してもらうなど、協力して園の運営を実施している クリスマスリースとお正月飾りをボランティアと制作し、園の演出を高めた。</p>				
			・ボランティア養成講座の実施	毎年	<p>H28:全15回、52名参加 H29:全10回、17名参加</p>	A	<p>・提案に基づき、今後も植栽展示・イベント・運営全般について様々な変化が伴うため、ボランティアとの意思疎通を密にし、連携体制を一層強化されたい。 ・ボランティアを対象とした講習会を充実されたことは高く評価できる。 ・ボランティア養成講座の参加人数を再び確保できたことは評価できる。</p>	A	<p>・施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、いずれも提案に沿って実施されたと評価できる。</p>

				H30:全12回、47名参加			
		②花の栽培以外のプログラムの充実					
		・ボランティアを対象とした各種講習会の実施	毎年	「花の文化園倶楽部活動」を発足。植物に特化した勉強会や活動を月に1度実施している。 (バラ倶楽部、クレマチス倶楽部、樹木・ラン倶楽部、草花・ハーブ倶楽部、自然観察・ガイド倶楽部)。 バラの講習会 「須磨離宮公園」・「本山街園」視察 11/7 (水) ランの専門家による洋ランの講習会 「洋ラン講座」6/10 (日)、9/9 (日)、1/20 (日) 上記、講習会等はボランティア会員に優先的に案内。			
		・他の園の活動を学ぶバスツアーの実施	H29~32	H30:都市緑化フェア「山口ゆめ花博」視察。和歌山・白浜へのバスツアー実施 (南方熊楠記念館、平原原公園)			
		・ボランティアの活動の支援	随時	毎月「NPO法人フルル花と地域の応援ネット」の理事会と会議を行い、ボランティア会員の方の要望を汲んだ日頃の活動内容の改善や今後の体制づくりについて検討している。 ボランティア会員のボランティア活動日の入園は無料としている。 ボランティア活動における交通費の補助金を提供している。			
(8)その他施設の管理運営に関する業務(売店、レストラン含む)	①売店					A	A
		・園の花と連動した商品の充実	H28	花壇と販売苗をリンクするなど、継続実施中。	・いずれも提案に沿った取組がなされており評価できる。 ・来園者数増加を図るため、引き続き園内施設を活用した様々なイベントを開催されたい。		
		・寄せ植えの販売	H28	季節や行事に合わせた寄せ植えを継続販売中。			
	②レストラン						
		・プロデューサーを起用した新店舗の検討	H28	プロデューサー指導のもと、新メニューの導入や、キッズスペースの設置等を実施済み。			
		・温室カフェテリアの整備	H28, H29	整備済み。			
		・ケータリングカーの誘致	毎年	H28:夏休み子ども祭りでは3台のケータリングカーを誘致。 H29:「奥河内秋の文化祭」では2台、「はなぶんファンタジーシネマ」では4台のケータリングカーを誘致。 H30:「奥河内秋の文化祭」では1台を毎週末、外部団体主催のマルシェでは各地で話題人気のお店を含めたケータリングカーを11台誘致。 また、随時出展依頼のあったものは受け入れ、園の賑わいを創出した。			
		・休憩所(ベンチ)の整備	H28, H29	整備済み。			
	③その他施設						
		・イベントホールとイベント広場が連動したイベント実施	H29~32	※H29 モニタリング評価対応方針:入園者数増を目指した様々なイベントの実施とそのPR方法を検討 H28:夏休み子ども祭りの際、イベントホールで各種ワークショップやクラフトづくり体験を行い、イベント広場ではケータリングカーによるにぎわい演出を行った。 H29:「NPO法人フルル花と地域の応援ネット」と共催のフルル展を開催(10/24-29)し、			

				<p>イベントホールで各種ワークショップを行い、イベント広場では園内栽培の花き類の即売会を行った。</p> <p>H30：クリスマス展（12/4-12/24）では、イベントホールでクリスマス関連の展示を行い、イベント広場では、ワークショップを開催した。「NPO法人フルル花と地域の応援ネット」のフルル展はH29年度同様に開催。また、イベントホールにて飲食ブース、イベント広場で物販ブースという外部団体主催のマルシェを誘致し賑わいを創出した。</p>			
		・花の工房事務室に授乳室を設置	H29 以降 (H28 延期)	キッズルームをセンター棟に新設したため、授乳室は現在の施設を活用し、図書室を含めてロビーの活用に変更。			
		・花の工房休憩室にキッズスペースを併設	H29	センター棟ロビーへ計画変更し、設置済み			
(9) 周辺施設と連携したイベント開催等による地域活性化に係る業務	①木根館との連携				A	<p>・周辺施設との間でイベントへの相互出展等をしていることは評価できる。</p> <p>・くろまろの郷との共通チケットについては、くろまろの郷利用者を花文へ誘致する取組であり、一定の成果もあったことから、高く評価できる。来年度の実施については調整中とのことだが、同様の取組を継続されたい。</p>	A
	・削りくず等のコンポスト化	H29 以降 (H28 延期)	自然発火等のリスクがあるため、連携施設と協議の上で中止。				
	・園内ベンチ等の製作及びイベント化	毎年	連携せず、内部職員にて実施。				
	②くろまろの郷、ふるさと歴史資料館との連携						
	・マルシェや加工品による料理教室の実施	H29～H32	<p>※H29 モニタリング評価対応方針：入園者数増を目指した様々なイベントの実施とそのPR方法を検討</p> <p>H28, 29, 30:くろまろの郷施設連携会議へ月1回参加。(H30は毎月開催)</p> <p>H29:奥河内秋の文化祭イベントでは、周辺施設(くろまろの郷ビジターセンター、JAあすかてくるで河内長野店、木根館、ふるさと歴史学習館)との連携強化を図るため、スタンプラリーポイントの設置、フライヤーへの情報掲載を行った。また、ワークショップへの出展協力もいただいている。他施設のイベント開催においては、物品の貸出やポスターの園内掲示の協力を随時行っている。</p> <p>H30:はなぶんサマースプラッシュ、奥河内秋の文化祭では、フライヤーへの情報掲載を行った。キッズワークショップへの出展協力をいただいている。他施設のイベント開催においては、物品の貸出やポスターの園内掲示の協力を随時行っている。くろまろの郷レストラン及びビジターセンターが混雑して待ち時間が掛かる場合はレストランの予約をして文化園を先に見てからのレストラン利用を図る共通コラボチケットの試験運用を実施した。(5～7月の運用で430人の利用)</p>				
	・くろまろの郷への花による装飾の提供	H29～H32	<p>※H29 モニタリング評価対応方針：入園者数増を目指した様々なイベントの実施とそのPR方法を検討</p> <p>H30:くろまろの郷から文化園へ向かう宮山橋にプランターを設置し、季節ごとのお花で入園者を出迎えた。</p>				
・花見ツアーの開催	H31～32	<p>H29:近隣地元自治会を招待し、夜間ライトアップ花見を実施。</p> <p>H30:近隣地元自治会を招待し花見を実施。</p>					
(10) 高齢者、障がい者等への利用援助	①高齢者、障がい者への利用援助				A	<p>・提案どおりレイズドベッドを利用したイベント実施をしていることは評価できる。</p> <p>・来園者の要望や意見、職員の気付きについて、職員間で十分に情報共</p>	A
	・貸出し用車椅子の設置	H28	設置済み。				
	・レイズドベッドの整備およびイベント	H30～32	H29:レイズドベット整備済み。4月、10月に車椅子に座ったままレイズドベッドを利用した花の植え替えイベントを無料実施した。20組ほどの参加。				

			実施		H30:H29 同様に福祉花壇にて4月、10月にレイズドベットを利用した花の植え替えイベントを実施した。17組ほどの参加。		有し、園の魅力を高めて来園者の満足度を高めるために活かしていただきたい。		も提案に沿って実施されたと評価できる。
			・貸出し用音声案内の設置	H29	設置済み。				
			・ヒヤリハット事例等の収集および改善	随時	お客様ヒアリングシート及び気づきシートを作成し、お客様からお聞きした要望やご意見をとりまとめ、随時改善に努めている。 気づきシートは職員自身も利用し、お客様目線での思考、行動面での「気づき」を大切にすよう指導している。				
(11)府施策との整合等	①府が主催、共催、後援する行事・イベントへの協力	毎年			府政学習会への場所の提供及び、無料入園券の提供を行っている。 府政だよりへの無料入園券の提供を行っている。 大阪府南河内府税事務所による「税を考える」特別イベントを開催(11/18) 「高齢労働者就労自立支援事業」の受け入れを行っている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・提案どおり府施策に協力いただけたことは評価できる。 ・府内花き生産振興については、昨年度に引き続き、生産者のほ場確認や売店販売用の花苗の仕入れなど、これまでにない取組により府内花き生産振興について積極的に支援されていることは高く評価できる。 ・就職困難者等の雇用については、提案どおり実施しており評価できる。 ・台風21号被害の影響による臨時休園があったにもかかわらず、総入園者数・中学生以下入園者数が増加していることは、今年度の集客イベント及びPR活動の成果が出ているものとして高く評価できる。 ・入園者数については、1月末時点では総入園者数が昨年対比92%、有料入園者数が101%で推移しており、現時点では総入園者数が年間約103,000人(H29入園者数111,811人(ボランティア除く)×92%)、有料入園者数は約51,000人(H29有料入園者数50,225人×101%)と見込まれる。5カ年事業計画で掲げた30年度の総入園者数100,000人及び有料入園者数50,000人を上回る見込みのため、評価できる。 ・園外での活動についても、舞洲ユリ園にて4.5万人にPRするなど5カ年事業計画で掲げた人数を上回るため、評価できる。 ・入園者数及び出前授業など花の文化園の活動を通して目標20万人を 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、いずれも提案に沿って実施されたと評価できる。 ・利用者数については、施設規模や社会情勢から考慮しても、目標を上回っており評価できる。
	②府内花き生産振興支援	毎年			大阪府花き園芸連合会より装飾花壇に使用する花苗を購入。納品前に圃場での確認を行い、直接生産者と交流することで納品日等の調整を実施している。 圃場点検の際に生産苗を確認し、別途購入手配を行っている。 園内の植栽展示と売店販売を連携させ、売店販売用の花苗を仕入れている。				
	③教育、福祉への協力	毎年			学校ガーデニング事業では河内長野市内の小中学校へ花苗の提供と植付けの指導を実施。(H28:全21校、H29:全21校、H30:全1園15校) 小中学校の生徒による職場体験の受け入れを実施。(H28:9校30名、H29:7校19名、H30:6校18名) 職場体験では毎年新任の先生方の受け入れも実施。(H28:3校3名、H29:3校3名) こさえたんフェアを実施。(H28:春、秋、H29:秋、H30:秋)				
	④就職困難者等の雇用	毎年			支援センターを介して、パート職員として1名(男性)を採用。 すながわ高等支援学校より職場体験希望者1名(女性)を受け入れた。 H30年1月現在 就職困難者3名及び知的障害者1名を雇用。 (提案内容:就職困難者3名新規雇用及び知的障害者1名継続雇用)				
	⑤利用者満足度調査	毎年			※H29利用者満足度調査実施による改善のための対応方針:多様なイベント、講習会の実施やそのPR手法の見直し、およびレストランメニューの充実を図る。 H30:春と秋にアンケートを実施。各回500名の方に協力をいただいた。「植物に関心がない」、「文化園を知らない」といった未開拓のお客様を呼び込むため、大阪中ノ島公園での屋外イベント、さかい利品の杜、堺緑のミュージアムハーベストの丘、大阪府立大型児童館ビックバンへ「出張花の文化園」として移動花摘み園やワークショップを開催し文化園のアピールをすると共に園内レストラン・売店割引チケットを配布を実施し入園者の呼び込みを図った。				
	⑥利用者数	毎年			※H29モニタリング評価対応方針:多様なイベント、講習会の実施やそのPR手法の見直し、およびレストランメニューの充実を図る。 H29:総入園者数は89,588人(1月末昨年対比122%)、有料入園者数は40,948人(1月末昨年対比110%)である。 H30:総入園者数は82,555人(1月末昨年対比92%)、有料入園者数は41,149人(1月末昨年対比101%)である。昨年まで開催のイルミネーション(17:00以降)の入園者を除くと昨対比は総入園者数では101%である。実質の総入園者数、有料入園者ともに、過去2年間の経験を活かした年間イベント計画、効果的なPRの実施により、9月度の行楽シーズンにおける台風21号の被害による休園(14日間)があったにもかかわらず昨年度同様の成果をあげた。また、外部入園者数として「大阪舞洲ユリ園」における文化園の紹介活動にてユリ園入				

				<p>園者約 10 万人に対し 4.5 万人へ案内することができた。</p> <p>障がい者の入園者数については 8,165 人（12 月末 昨年対比 94%）である。幼児、小中学生の入園者数については、13,475 人（12 月末 昨年対比 109%）である。増加要因としては「はなぶんサマースプラッシュ」等の夏休みイベントの定着、子供向けのワークショップを多数開催した結果と思われる。</p>	<p>達成するには、更なる集客が必要である。引き続き、PR 活動、多様なイベント開催、植栽展示及び植物に関する講習会等の充実に努め、来園者数の増加を図りたい。</p>		
I 総評					A		A

評価項目	評価基準（内容）	実施予定 年度	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の 指摘・提言	
				S～C		S～C		
Ⅱさらなるサービスの向上に関する事項	(1) 施設・設備の改修	①平等利用を確保するための施設整備			A	<ul style="list-style-type: none"> ・提案どおり、園全体の舗装再整備や施設の改善を進めていることは評価できる。 ・車いす利用者が安全通行可能な園路への路面サイン設置についても、予算を確保して対応されたい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、いずれも提案に沿って実施されたと評価できる。
		・園全体の舗装再整備	H29～H32	H28, H29:モミジ谷、階段の整備実施。 H30:モミジ谷園路舗装前面改修、シェードガーデン内の石畳の不陸調整を実施。				
		・車椅子利用者が安全通行可能な園路に路面サインを設置	H30～H32	H30:実績なし。				
		・エントランスゲート近くに車寄せを新設	H31	H30:実績なし。				
		・男女トイレに子供用いす及びおむつ替えスペースを設置	H31～H32	H30:実績なし。				
		・花の工房事務室に授乳室を設置	H29 以降 (H28 延期)	(再掲) キッズルームをセンター棟に新設したため、授乳室は現在の施設を活用し、図書室を含めてロビーの活用に変更。				
		・花の工房休憩室にキッズスペースを併設	H29	(再掲) センター棟ロビーへ計画変更し、設置済み				
		・園内サイン、パンフレットの多言語化	H29, H30	H29:多言語園内マップ (A4サイズ) 整備済み。(中国語、韓国語、英語)				
		・園内各所にベンチやパーゴラを設置	H29, H31 (H28 延期)	H30:イベント広場、売店前、コミュニティーガーデンに休憩用のパラソル付きテーブルセットを設置。				
		・施設のバリアフリー化(階段のスロープ化、手すり設置)	H28, H29, H31	H28:遊歩道に手すりを新設。幅広い年代の方に対応。 H29:球根園を車椅子対応に整備済み。				
		・社会福祉施設の職員を定期的に招いて改善点の指摘を受け入れ、施設を再整備	H29～H32	H29:実績なし。障がい者ご来園時には聞き取りを行ない、休憩室(和室)の利用を頂く等改善中。 H30:レストランの一部エリアのテーブルの設置間隔を広くし、車いす等での利用をしやすくする改善をした。				
		②エントランスゾーンの改修整備						
		・外からも装飾花壇を臨むことができるように見通しを改善	H28	ゲート外から装飾花壇が見えるように改修。				
		・園内エントランス広場の舗装改修(※事業計画では記載がないが、シェードガーデン園路改修を予定)	H30	H30:シェードガーデン内石畳の不陸調整を実施。				
		・シンボルとなるようなサインを設置	H29, H30 (H28 延期)	H29:エントランス上部へ遠くからでも視認できるサインを設置。より親しみを持ってもらえるよう“はなぶん”の愛称を強調するデザインとした。エントランスのシンボルツリーであるシマサルスベリの樹形(影)の映し込みを意図して白をベースとしたカラーリングとした。 H30:実績なし。				
		・装飾花壇の勾配変更	H30 (H29 延期)	H30:最上段の花壇に盛土を実施し、モニュメントの付近を頂点とする約40cmのかさ上げを行い勾配を変更した。				
・売店にカフェを併設し、コミュニティーガーデンに座席を設置	H30	H30:売店の一部をイベント広場にある休憩所へ移転し、移転してできたスペースを休憩室とすることで一年を通して食事・休憩スペースとして改修、コミュニティーガーデン内の花壇も整備しパラソル付きテーブルセットを設置して入園者						

				に開放した。				
(2) その他 創意工夫	①提案に基づく業務内容以外の創意工夫・ 自主事業の取り組み	毎年	H29:自主事業として、「はなぶんファンタジーシネマ」として屋外映画鑑賞会を実施。 H30:各種イベント団体をプロモートすることで費用をかけない形での新規イベントを実施した。(河内長野雑貨村 春、夏、秋計3回)。 ゼロエミへの取り組みを兼ねたイベントとして、装飾花壇の植替え時期に合わせて花壇の抜き取りイベントを実施し、多くの入園者にご参加頂くとともに、まだ使える花苗の再利用と植物残さとしてのゴミの排出抑制ができた。(6、9、11月実施 参加者 700人) 夜の植物園ナイトツアーを開催し新たな植物園の魅力を発信した。(7月 参加者 8日間 21人) モミジ谷の園路改修にともない紅葉ライトアップとモミジの下での篠笛と電子ピアノの演奏会を実施した。(11月 参加者 3日間 788人)	A	・花壇の抜き取りイベント、ナイトツアー、紅葉ライトアップなどこれまでとは違う植物園の楽しみ方を提案している点は評価できる。	A	・施設所管課の評価のとおり、提案された項目については、いずれも提案に沿って実施されたと評価できる。	
II 総括					A		A	

				指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		
				評価	評価			
				S～C	S～C			
目 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する事項	(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	①施設や植栽整備に利益の再投資を行い、「経営」視点の管理運営	毎年	※H29 モニタリング評価対応方針：来園者増によるものと外部販売を含む収入拡大を図る。 H28, H29, H30:施設の安全を確保、施設コンセプトに見合う改修・サービスに優先的に投資。同時に、集客に向けた準備（コンテンツの充実、宣伝）を行い指定管理3年目からの経営回復をはかる。 植栽管理及び改修の高質化及び作業の安全性の向上を一番に考え、適正価格で住友林業グループの取引業者へ外部委託。 住友林業グループの一員としての総合力で、改修費用、生産原価を抑えることで経費の圧縮を実現。 専門家を招きバラ等の管理指導を受けると同時に、イベント化し来園者に向けての講習とすることで費用の削減と管理の高質化を実現。 業務分担の見直しを行い、チーム間、職員間の情報の共有化を徹底することで、作業の無駄を省き運営の効率化をはかる。 H30:パート職員の効率的なシフト管理を行うことで人件費を抑え、管理業務の一部を外部委託することで園内整備に注力した。 入園料及び施設利用料収入は 24,393,038 円 (1 月末 昨年対比 102%) となっている。	A	・施設の安全確保に向けた改修、樹木の整枝せん定、植栽展示の整理改修など、来園者満足度向上による集客（収入）増の基礎づくりを着実に進め、一方で経費支出の縮減に努めた結果、1 月末時点で目標の 5 倍超の収益を確保したことは評価できる。今年度の収益を活用し、さらなる園の魅力向上に取り組みたい。 ・共同企業体を構成する 2 法人の経営状況は安定しており、今後も安定的な指定管理業務の遂行が期待できる。	A	・収入については目標を下回っているが、現在の社会情勢の中で、入園者数目標はクリアし、レストランや売店などを含めた全体の収支改善を図っている点で評価できる。
		②最新技術の活用や無駄を省いた効率的な管理運営による経費削減	毎年	H28、H29、H30：入園券の発券システムを新たに導入し、発券と同時に入園者の年齢や性別の分類集計を可能とした。今後は集計したデータを活用し、運営の改善を図る。 園内生産の植物を売店で販売することにより、仕入経費の削減に努めている。				
		③安定的な運営が可能となる財政的基盤（法人の経営状況）	毎年	共同企業体のいずれの法人においても安定した経営を継続している。				
	(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	①職員体制・配置	毎年	管理職員 4 名（住友林業緑化社 2 名、E-DESIGN社 2 名）、現場雇用嘱託職員 10 名（マメジメント 2 名、プランニング 1 名、ガーデン 7 名）の 14 名体制で管理運営。パート職員についてはプランニング担当 2 名、植栽管理 17 名（うち 2 名はレストラン、売店兼務）、レストラン 9 名、券売 3 名、売店 3 名、管理清掃 4 名、計 38 名体制で業務にあたっている。 経理業務管理については 3 名（内 2 名は現地雇用嘱託職員）にて、支出管理、勤怠管理を行っている。 植栽管理については 6 名の現場雇用嘱託職員にて担当植物分担を決めたうえで年間管理計画に基づき植栽管理パート職員と共同して作業にあたることとしている。また、毎週 1 回のミーティングを実施し、情報共有を図っている。 企画担当は 5 名体制で、広報・イベント等企画を実施。毎週ごとにみどころガイドマップ等の広報媒体の作成、ホームページ等の更新、イベントの企画・運営、イベントホール等の使用誘致及び調整を行っている。	A	・パート職員が増員され、また植栽管理、レストラン、売店を兼務するなど業務範囲が広がっていることから、来園者サービスの質を維持するため、職員研修を充実させるとともに、引き続き職員間及び指定管理者とボランティア間の意思疎通及び運営方針の共有に努められたい。	A	・施設所管課の評価のおおりに、提案された項目については、いずれも提案に沿って実施されたと評価できる。
		②職員の指導育成体制は十分か	毎年	住友林業緑化社実施の安全大会への出席、ISO研修等の住友林業グループの教育の場に嘱託職員も参加。 毎朝の朝礼において危険作業等の是正事項の指導を実施。				

			<p>職員が常駐する各部屋に住友林業グループの環境方針を掲げ、定期的に確認を促している。</p> <p>職員自らが改善点に気づき、働きかけることができるよう「気づきシート」の作成を実施。管理者が回答を記入したものを全職員に回覧。</p> <p>ガーデンチーム及びプランニングチームは毎週1回の定期ミーティングを実施、職員の意識共有を図っている。</p>				
III 総括				A		A	